

★脱穀・もみすり★

仁多福祉会立阿井幼稚園

きいん・らいおんだより

令和4年10月6日(木)

9月に刈った稲が乾き、今年は10名の地域の方にお世話になり、脱穀ともみすりを賑やかに行うことができました。

脱穀では、ハーベスターや“千歯”という昔の道具を使って体験しました。みんなの一生懸命に稲を運び、脱穀をしようとする姿が印象的でした。

また、その後は大上の作業場でもみすりを行いました。米が機械を通ると、もみがはがれてお米になって出てくる様子をのぞき込んで興味津々の子どもたちでした。





お米がきれいに
取れたよ！

千歯



ハーベスター

わぁ！お米が出てきた！



秋の恵みに感謝！



～地域の皆さん、ありがとうございました。～



朝は雨がちらつきましたが、なんとか天候も回復し、かんばって脱穀・もみすりを行うことが出来ました。地域の方に教えてもらい、昔の道具に興味を持って体験することで、先人の工夫や知恵に感心すると共に、改めて米作りの大変さを実感した子どもたちでした。

今年のヒメノモチの収穫量は、約73キロでした。実際に米袋を何人かで持ち上げてみて、「うわあ！重たい！！」とたくさんの収穫に子ども達も大喜びでした。「早く食べたいな～」と楽しみにしています。自分達で育てたヒメノモチはきっと格別なことでしょう。

これで今年度のケロちゃんたんぼでの活動は最後となります。今年もたくさんの地域の方にお世話になり、無事にたんぼ活動を行うことができました。米作りの大変さ、収穫の喜び、地域の方の温かさなど、様々なことを知ることができ、とても良い体験となりました。この体験が子ども達の心に残り、ふるさとを愛する気持ちにつながることを願っています。